



期日 令和7年6月27日（金）

時間 午前 1 1 時 0 0 分から

会場 南魚沼市役所本庁舎 2 階応接室

件 名

令和 7 年 6 月の定例記者会見について

内 容

1. 観光シンボルマークの決定について・・・商工観光課 P 1
2. 企画展「メイド イン 南魚沼 企業を知る」の開催について・・・商工観光課 P 2
3. フジロックフェスティバル'25 でのフードロス削減の取組について・・・廃棄物対策課 P 4
4. フジロックフェスティバル'25 でのペットボトル水平リサイクルの取組について・・・廃棄物対策課 P 7
5. 総務省モデル実証事業「ふるさとミライカレッジ」への採択について・・・U & I ときめき課 P 9
6. 明治大学情報コミュニケーション学部との包括連携協定について・・・U & I ときめき課 P 12
7. 八色西瓜プロモーション企画「農／KNOW THE FUTURE」の公開について・・・農林課 P 13

○南魚沼市地域おこし協力隊からの情報提供

・「#南魚沼リアル交流会」について

○南魚沼市観光協会からの情報提供（資料配布のみ）

- ・「南魚沼市兼続公まつり」の開催について

《7月定例記者会見：令和7年7月25日（金）午前11時～予定》

《お問合せ先》

南魚沼市 総務部 秘書広報課

担当：秘書広報班 樋口

電話 025-773-6658

FAX 025-772-3055

メール hisyo@city.minamiuonuma.lg.jp



令和7年6月27日

南魚沼市産業振興部

商工観光課

件 名

観光シンボルマークの決定について

内 容

南魚沼市では、今後の観光振興やシティプロモーションの際に活用していく「観光シンボルマーク」を市民投票を経て下記のとおり決定しました。

このシンボルマークは、本市の観光地域づくりの基本理念である「ゼッピン雪国宣言」を体現する象徴として位置づけられ、観光パンフレットやポスター、SNS、観光案内看板、イベントなどさまざまな場面で活用していく予定です。

記

1. シンボルマーク



2. シンボルマークのモチーフ

「南魚沼市の特産品である南魚沼産コシヒカリや、注目の意味である米印（※）をモチーフ」とし、さらに「雪の結晶をモチーフに、雪解け水が流れる様子」を表現したデザインです。

3. 今後の展開

基本理念の下、令和7年9月に南魚沼市観光戦略を策定予定です。来訪者満足度の向上と持続可能な観光地経営を両立させるため、地域全体で連携しながら、ブランド価値の磨き上げと発信を進めてまいります。

添付資料

なし

《お問合せ先》

南魚沼市 産業振興部 商工観光課

担 当：観光交流班 山崎

電 話 025-773-6665

FAX 025-773-6710

報道資料

報道機関 各位



令和7年6月27日

南魚沼市産業振興部

商工観光課

件 名

企画展「メイド イン 南魚沼 企業を知る」の開催について

内 容

高校生をはじめ市民の皆さんから、市内製造業の高い技術力や優れた製品を知ってもらい、市内での就職に関心をもってもらうために、企業紹介の企画展を下記のとおり開催します。

普段目にすることができない特別な技術や製品等を間近で目にすることのできる良い機会となりますので、広報・取材をお願いいたします。

記

1. 展示期間 6月20日（金）から7月29日（火）まで
（図書館休館日は除く）
2. 会 場 南魚沼市図書館
3. 展示企業 12社（50音順）
 - ・株式会社アイエスエンジニアリング
 - ・株式会社オーヒラ
 - ・株式会社笠原成形所
 - ・セキ技研株式会社
 - ・中越住電装株式会社
 - ・テーブルマーク株式会社
 - ・新潟三吉工業株式会社
 - ・ニコ精密機器株式会社
 - ・ニデックプレシジョン株式会社新潟事務所
 - ・ニューロング精密工業株式会社
 - ・h a k k a i 株式会社
 - ・株式会社粉研パウテックス

添付資料

- ・企画展 「メイド イン 南魚沼 企業を知る」 チラシ

《お問合せ先》

南魚沼市 産業振興部 商工観光課

担 当：商工振興班 相場

電 話 025-773-6665

F A X 025-773-6710

企業を知る

～Made in Minamiuonuma～

南魚沼市内の製造業の

高い技術・優れた製品を企業展示で紹介します！

知れば知るほど魅力に引き込まれる！

そんな「発見」してみませんか？



2025
6/20
7/29

参加企業

12 社

金

火

※図書館休館日を除く

会場 南魚沼市図書館

南魚沼市六日町101番地8

展示企業(50音順)

株式会社アイエスエンジニアリング/株式会社オーヒラ

株式会社笠原成形所/セキ技研株式会社/中越住電装株式会社

テーブルマーク株式会社/新潟三吉工業株式会社/ニコ精密機器株式会社

ニデックプレシジョン株式会社新潟事務所

ニューロング精密工業株式会社/hakkai株式会社/株式会社粉研パウテックス

主催 南魚沼市役所商工観光課 TEL 025-773-6665

共催 南魚沼市地域産業支援連絡協議会(ICLOVE)



企業を知る
ホームページ



件名

フジロックフェスティバル'25 でのフードロス削減の取組について

内 容

湯沢町で開催される国内最大規模の音楽フェス、フジロックフェスティバル'25（令和 7 年 7 月 25 日～27 日）において、下記のとおり主催者の株式会社スマッシュ、県内フードバンク関係者と連携し、出店飲食事業者のご協力を得ながら、フードロス（まだ食べられる食品廃棄物）の削減に、昨年に取り組みます。

記

1. 背景

フジロックフェスティバルは、「世界一クリーンなフェスへ」をスローガンに、これまでもプラスチック・紙類の積極的なリサイクルや、ビン・缶類を排出しない取組を行っています。

開催地である湯沢町とごみの共同処理を行う南魚沼市は、会場で発生する事業系廃棄物の削減に主催者と連携して取り組んでおり、2024 年からはフードロス対策の取組を開始しました。昨年の取組において一定の効果があったことから、この取組の定着を目指し、継続した活動を行うものです。

2. フードロス削減の取組内容

・実施団体

NPO 法人新潟県フードバンク推進協議会、株式会社スマッシュ、
湯沢町、南魚沼市

・活動内容

「新潟県フードバンク推進協議会」が、フジロックフェスティバル会場にて、出店飲食事業者から利用可能な食品を回収し、食料支援活動に利用する。

添付資料

- ・ 昨年の活動状況

＜お問合せ先＞

南魚沼市 市民生活部 廃棄物対策課

担 当：伊佐早

電 話：025-782-0339

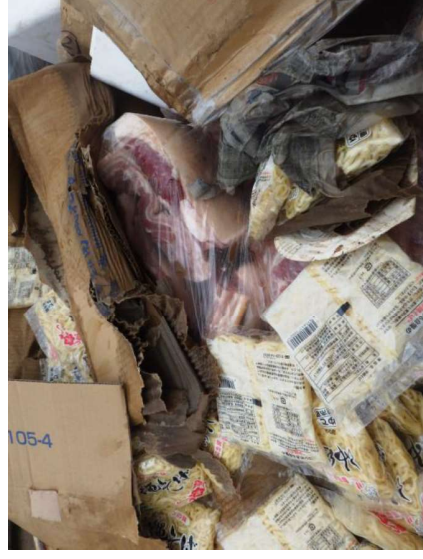
湯沢町 企画産業観光部 環境農林課

担 当：南雲

電 話：025-788-0291

○フードロスへの取り組み（2024）

フジロックフェスティバルの飲食店ブースで発生するフードロスについて、県フードバンクや子ども食堂・生活困窮世帯への支援を行う団体と連携し、フジロック終了後の飲食店ブースで回収活動を実施。



FUJI ROCK FESTIVAL' 24 フードバンクゆざわを ご利用ください。

フードバンクを利用することでフードロスを減らし、廃棄物を削減して世界一クリーンなフェスを目指しましょう！！

受け取り可能な食品

- ・箱や袋詰めのもものは未開封品
- ・賞味期限が1週間以上あるもの

受け取りができない食品

- ・生肉
- ・カット済みの野菜
- ・賞味期限表示がないもの



日時：7月29日（月）13：00～15：00

場所：OASIS エリア やぐら横（※詳細は裏面）

※受け付けトラックを用意します。
※食品にお店の名前等を記入していただければ、お店の名前をフードバンクのSNS等で紹介させていただきます。

フードバンクゆざわ
株式会社スマッシュ
湯沢町・南魚沼市





件名

フジロックフェスティバル'25での
ペットボトル水平リサイクルの取組について

内 容

南魚沼市と湯沢町は、フジロックフェスティバル'25において大塚製薬株式会社、豊田通商株式会社及び株式会社魚津清掃公社（以下3社）が行う使用済みペットボトル回収と、再びペットボトルとしてリサイクルする『ペットボトルの資源循環水平リサイクル』の活動を下記のとおり支援します。また、市民・町民及び事業者に向けて広くこの活動を周知し、南魚沼地域全体のリサイクル意識の更なる向上を目指します。

記

1. 背景

ごみ処理を共同で行う南魚沼市と湯沢町では、年間を通して多くの観光客を迎え「観光ごみ」が多く発生する地域性から、ごみ分別の精度が課題となっており、分別の徹底による「リサイクル優先」の意識啓発に日々取り組んでいます。国内最大規模の音楽イベントであるフジロックフェスティバルでは、会場におけるごみの分別を徹底し、観光と環境の両立を目指した運営が行われています。昨年から3社が連携して会場で発生した使用済みペットボトルを回収して再びペットボトルとしてリサイクルする「ボトルtoボトルの資源循環水平リサイクル」に取り組んでいます。

湯沢町と南魚沼市は、フジロックフェスティバルでの活動をきっかけとして、昨年11月に3社と「ペットボトルの資源循環水平リサイクルに関する協定」を締結し、区域内の一般家庭等から回収されるペットボトルを優先して、ペットボトルへ再資源化することで資源の循環を推進しています。

2. 連携による取組内容

・大塚製薬株式会社

啓発ポスターの作成、フェス会場での啓発、情報発信

・南魚沼市・湯沢町

市民・町民への啓発周知、関係先へのポスター配布・掲示、報道発表

添付資料

- ・大塚製薬製作ポスター「新たなPETボトルとして生まれ変わります!!」

《お問合せ先》

南魚沼市 市民生活部 廃棄物対策課

担当：原澤・芳賀

電話：025-782-0339

湯沢町 企画産業観光部 環境農林課

担当：南雲

電話：025-788-0291

南魚沼市・湯沢町で回収されたPETボトルは

新たなPETボトルとして 生まれ変わります!!



「ボトルtoボトル」は 水平リサイクル

「ボトルtoボトル」水平リサイクルとは、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生し使用する循環型のリサイクルシステムです。ペットボトルを資源として何度も循環することが出来、化石由来原料の使用量やCO₂排出量の削減に繋がり地球環境の保全に貢献します。



南魚沼市・湯沢町と大塚製薬はペットボトル資源循環水平リサイクル「ボトルtoボトル」に関する協定を締結し市内・町内のペットボトルリサイクル向上に向けて取組んでおります。



令和 7 年 6 月 2 7 日

南魚沼市総務部

U & I ときめき課

件 名

総務省モデル実証事業「ふるさとミライカレッジ」への採択について

内 容

総務省事業である「大学等と地域が連携して取り組む地域課題解決プロジェクト（ふるさとミライカレッジ）」のモデル実証事業に、南魚沼市が採択されました。

南魚沼市では、次のとおり 2 つの大学と連携し、地域課題解決と地域との交流による地域活性化に取り組めます。

1. 事業概要

南魚沼市では、空き家と未活用施設を大学生のアイディアでリノベーションし、学生が継続的に滞在できる拠点とするとともに地域住民との交流の場を創設します。

2. 事業内容

(1) 五郎丸地区の民家（住所：五郎丸 537）

（（一社）愛・南魚沼みらい塾管理物件）

○連携大学

- ・法政大学 デザイン工学部 赤松佳珠子教授研究室
- ・千代田区キャンパスコンソーシアム構成大学

（大妻女子大学・同大短期大学部、共立女子大学・同短期大学、専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学）

○夏季滞在期間：8 月 4 日（月）～8 月 11 日（月）

(2) 直江兼続公伝世館（予定）

（住所：坂戸 393-2 銭淵公園内）

○連携大学

- ・早稲田大学 創造理工学部 田中智之教授研究室

○夏季滞在期間：未定（8 月～9 月の間）

添付資料

- ・ふるさとミライカレッジ事業について

《お問合せ先》

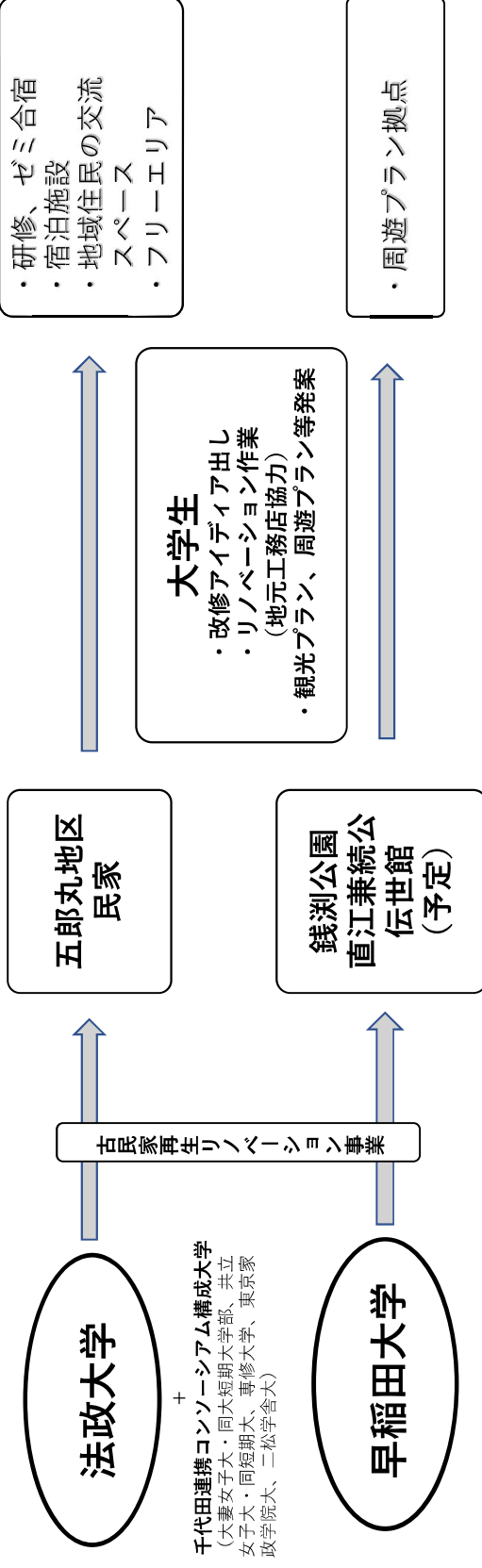
南魚沼市 総務部 U & I ときめき課

担 当：ふるさと創り班 若井・風間

電 話 0 2 5 - 7 7 3 - 6 6 5 9

F A X 0 2 5 - 7 7 2 - 3 0 5 5

◆事業イメージ



◆連携する大学及び研究室

・法政大学

- ①デザイン工学部 建築・都市空間デザイン研究室
赤松佳珠子教授および研究室所属学生

- ②法政大総長室付教学企画室により公募された千代田区キャンパスコンソーシアム構成大学 (※) に所属する学生

(※大妻女子大・同大短期大学部、共立女子大・同短期大、専修大学、東京家政学院大、二松学舎大)



赤松佳珠子
Akamatsu Kazuko

出典：赤松佳珠子研究室HP

- ・早稲田大学
理工学術院創造理工学部建築学科
田中智之教授および研究室所属学生



田中 智之
Tanaka Tomoyuki

出典：早稲田大学創造理工学部・研究科
建築学科/建築学専攻HP

第1次公募採択プロジェクト一覧

	採択自治体	採択プロジェクト	事業費	目指す成果
1	秋田県能代市	若者の視点を取り入れた“のしろつながるまちキャンパス4”プロジェクト	10,000千円	・ 日常的にチャレンジする場所を創出するとともに、学生も活用できる拠点を創出する。 ・ 駅前商店会、畠町商店街への来街者の増加を目指す。 ・ 参加学生が全員関係人口として、本地域に継続的に関わる関係性の構築を目指す。
2	山形県小国町	「ぶな文化」を核とした地域課題解決プロジェクト	10,000千円	・ 地域価値の源泉としての「ぶな文化」を核に世代間交流や地域価値を見直し移住や事業化につなげることを目指す。 ・ 中高生が、将来のロールモデルとなる大学生や地域内人材と共に探究的な学びを実践する環境と拠点を創出する。
3	福島県玉川村	Creating the future「たまたま」プロジェクト	8,936千円	・ 小中高生が将来的に「戻ってきたい・ふるさとに貢献したい・応援したい」と思える土台をつくり、郷土愛を育成する。 ・ 参加した大学生が継続的に地域に関わり、地域の担い手として活躍する環境を整備し、ひと・もの・ことを循環させる。
4	新潟県南魚沼市	若者の視点を取り入れたリノベーション・プロジェクト	10,000千円	・ 大学生が空き家及び公共施設を改修し、その後も継続的に学生が合宿拠点として活用できる施設の創設を目指す。 ・ 中高生が進学後に、地元に戻り行政職員や団体職員として地域活性化に取り組んでもらうよう事業を進めたい。 ・ 参加大学生の8名が継続的に訪問し、内2名は地域おこし協力隊や「ふるさとワーキングホリデー事業」等のデイレクターとして関わってもらえるような関係を築きたい。
5	長野県小布施町	地域と学生等との共創プログラム開発プロジェクト	10,000千円	・ コミットする学生等参加者の創出：事業の実装に向けた活動に、プログラム終了後に3名以上が関与し続ける状態 ・ “継続的に取り組むこと”への町内外利害関係者合意：1件以上、構想・実装を町内外利害関係者で合意を得る ・ コーディネーター人材の育成：実証期間終了後に2名以上が見込まれる状態
6	長野県飯田市	若者の視点を取り入れた過疎地支援「遠山郷ESDカリッジ未来共創プロジェクト」	10,000千円	・ 若者世代の「交流人口」を増加させるため、これまでの取組を生かし、「遠山郷クラブ」（仮称）にアップデートする。 ・ 地域の子どもや住民向けのイベント開催や住民の集会等でも活用できる活動拠点の形成を目指す。 ・ 将来は参加学生のうち半数について関係人口として継続的な訪問が行われる関係となることを目指す。
7	兵庫県丹波篠山市	中立案を拠点とした居場所づくりプロジェクト	9,950千円	・ 新たな関係人口の流入・定着が生まれ、担い手が育成されることで、地域文化・伝統行事が継承される。 ・ 地域の発信力が高まり、外部との接点が増えるとともに、地域資源の再評価と価値の再発見。 ・ 中立案を核とした共創・協働の拠点が機能することで関係人口として地域と繋がり続ける動きが生まれる。
8	和歌山県	ローカル線沿線地域を対象とした課題解決プロジェクト	10,000千円	・ その地域でしか体験できない活動や交流を経て、地域への関心と愛着を高め、関係人口として地域と繋がることを目指す。また、県で新設予定の関係人口創出プラットフォームへ参加学生8割の登録を促す。
9	島根県雲南市	長年培ってきた土壌を活かした人材還流プロジェクト	10,000千円	・ 地域のお祭りや古民家改修に学生たちが参画し、アイデアを提案・実行することで、新たな交流と賑わいを創出する。 ・ 学生と住民が交流を深める拠点の整備や、学生と多様な地域プレーヤーとの対話・共創を通じて、プロジェクト後も学生が雲南市と継続的に関わる関係性を構築する。
10	島根県海士町	“島留学”×“システム×デザイン思考”による事業共創・人材育成プロジェクト	9,850千円	・ 学生等が経営人材候補として、財団が中間支援組織として、連携しながら事業共創ができる状態を目指す。 ・ そこに向けて、①学生等およびまちづくり団体の人材育成、②地域課題を解決する数千万規模のスタートアップビジネスの企画・チームアップ、③島留学制度の発展方向性の明確化、の3点についてそれぞれ成果を把握・測定する。
11	愛媛県宇和島市	地域を担う若者と一緒に考える事前復興プロジェクト	10,000千円	・ 高校生と継続的な展示とワークショップを実施し、住民に広く防災・事前復興を共有するとともに多様な声を集める。 ・ 提案書は、市の事前復興まちづくり計画事業の参考資料とし、具体的なソフト・ハード整備へ展開させる。
12	沖縄県宮古島市	若者の視点を取り入れた宮古島モデル構築プロジェクト	10,000千円	・ 大卒の新規就業者を増やすための週末副業を選択肢に加えた新たな採用モデルの構築。 ・ 学生の地域課題研究成果の地域関係者との共有による新たな視点と解決法の共通理解の創出。

報道資料

報道機関 各位



令和 7 年 6 月 2 7 日

南魚沼市総務部

U & I ときめき課

件 名

明治大学情報コミュニケーション学部との包括連携協定について

内 容

この度、南魚沼市と明治大学情報コミュニケーション学部は、相互の連携・協力のもと、地域の発展に寄与することを目的に、包括協定を締結し、友好関係をさらに深めます。つきましては、下記のとおり締結に関するセレモニーを行いますので報告いたします。

記

1. 日 時：令和 7 年 7 月 7 日（月）午前 11 時から
2. 会 場：明治大学駿河台キャンパス 大学会館
（東京都千代田区神田駿河台 1－1）
3. 内 容：協定書署名及び記念写真撮影
4. 閉 会：正午終了予定

添付資料

なし

《お問合せ先》

南魚沼市 総務部 U & I ときめき課

担 当：ふるさと創り班 風間

電 話 0 2 5－7 7 3－6 6 5 9

F A X 0 2 5－7 7 2－3 0 5 5



件 名

八色西瓜プロモーション企画
「農／KNOW THE FUTURE」の公開について

内 容

南魚沼市では、若手農業者の全面協力の下、次世代ならではの新しい感覚・発想による南魚沼産コシヒカリのプロモーション企画「農／KNOW THE FUTURE」を令和元年度から制作しています。今年度はスピンオフ作品として南魚沼市八色西瓜編を公開します。

1. 企画の概要

(1) 南魚沼市の農業と南魚沼市の未来のために

先人たちの想い（誇り）を受け継いだ若手農業者たちの姿に南魚沼市の未来を重ねて表現することにより、八色西瓜の販売促進のみならず、南魚沼市のプロモーション・ビデオとしても活用することを目的としています。

(2) 新しい感覚を新しいターゲットに

若手農業者の新しい感覚・発想により制作した広告媒体により、都市圏在住の若者世代など、従来とは異なるターゲットに向けた販売促進活動を行います。

(3) 想いをさらに次の世代へ

若手農業者たちの想いをさらに次の世代である市内外の子供や若者たちに伝えるための普及促進活動、職業選択肢としての農業の推進に取り組みます。

(4) 出演も制作も「南魚沼産」

前作に引き続き、出演者も制作陣も南魚沼市在住の皆さん。出演・撮影・編集・デザインから音楽に至るまで「すべてが南魚沼産」のプロモーション企画です。

2. 実施内容

(1) 動画の公開

制作した動画を6/27（金）13時にYouTube上で公開します。

(2) 紙媒体広告の配布

ポスター250枚、チラシ1万6,000枚を制作。市内の宿泊施設や、小中学校を始め、友好都市や西瓜関連事業者の全国組織などに幅広く配布します。

添付資料 ・ チラシ

《お問合せ先》

南魚沼市 産業振興部 農林課

担 当：農業振興係 金井

電 話 025-773-6663

FAX 025-773-6710

いつかの虹を越えて

南魚沼市

KNOW THE FUTURE
SPINOFF

八色西瓜

OVERTHERAINBOW

Music by
DJ CO-MA+TSUNEI

AMI / MII / AYATO / NAOSHI / MAHIRO / MAKITO

飯酒盃 拓也 / 小澤 顕也 / 小澤 宙幸 / 笠原 大輔 / 勝田 隆介 / 桑原 宏太
桑原 沙由香 / 桑原 亮 / 高野 久恵 / 富井 輝人 / 坂大 貴史 / 星野 江身子 / 星野 裕介

南魚沼市特設ページにて
プロモーションビデオ 公開中

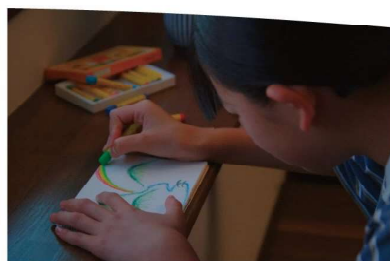


Minami-Uonuma
88

南魚沼市

八色西瓜 やいろすいか

八色西瓜(やいろすいか)の生産地は新潟県南部の越後山脈に囲まれた魚沼盆地に位置します。南魚沼市大和地域に広がる八色原を中心に生産されていることから、八色西瓜と名づけられました。冬は積雪2mを超えることもある豪雪地帯で、八海山をはじめとする山々から湧き出る豊富な雪解け水と水はけの良い黒色火山灰土壌、さらに盆地特有の寒暖差などの恵まれた自然環境と、生産者の代々受け継がれてきた西瓜作りの技とたゆまぬ努力が掛け合わさり、最高品質の八色西瓜が作られます。濃厚な味と甘み、シャリシャリとした食感が特徴です。先人たちの想いを受け継ぎ、JA みなみ魚沼の八色西瓜生産組合はこれからも美味しい西瓜を生産し、全国へ発信していきます。



企画のコンセプト

南魚沼産農産物の販売促進を始め、農業の素晴らしさ、従事する人々のカッコよさをPRすることにより、「職業として選ばれる農業の推進」「農業をきっかけとする南魚沼市への移住定住の促進」など、農業全体、南魚沼市全体への効果の広がりを目指します。JA みなみ魚沼青年部を中心とした管内在住の若手農業者が自ら企画、演出、出演。楽曲制作、撮影、編集、デザインなども南魚沼市を拠点とする若手クリエイター陣が担当。まさに次世代を担うオール南魚沼によるプロモーション企画です。今回取り上げる農産物は八色西瓜(やいろすいか)。農業者の丁寧な生産プロセスと少年少女たちのひと夏の思い出をショートムービーで表現しました。歌は南魚沼市出身で南魚沼市交流大使を務めるシンガーソングライター TSUNEI。トラック制作は南魚沼市在住で西瓜の生産者であるDJ CO-MAが担当。農業者の想いと子どもたちにとっての忘れられない一日を表現します。地域・農業の持つ魅力、農業者の熱い想いをぜひ感じてください。

作曲

DJ CO-MA

DJ歴わずか2年でDMC JAPAN FINAL 04に出場し注目を集め、05年にバトル部門初優勝、06年には2連覇を達成。WORLD FINALでは圧倒的勝利で世界チャンピオンに輝く。08年、DMCシングル部門で国内優勝し、世界大会3位。09年には国内2連覇を果たし、WORLD FINALで2位。さらに同年、IDA WORLD FINALでアジア人初の世界チャンピオンとなる。

作詞・歌

TSUNEI

新潟県南魚沼市出身。大好きだった亡き祖父の名前「つねいち」がその名の由来。ハタチの時に12歳の自分から届いた「歌手になっていますか?」という手紙に後押しされ歌手活動を開始。全国各地でのライブを精力的に行うとともに、CMソングやテーマソングなどの楽曲制作を数多く手掛けている。近年では学生向けに、自身の体験をもとにした講演をライブとあわせて実施するなど活動は多岐に渡る。

このチラシに関するお問い合わせはこちらまで

南魚沼市役所 産業振興部 農林課

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180番地1

TEL 025-773-6663 FAX 025-773-6710

映像制作・撮影 星野隼人 (Hype) スチール撮影 ヒロスイ写真館 ポスターデザイン Output Design 企画協力 小玉 恵一
作曲 DJ CO-MA 作詞・歌 TSUNEI



南魚沼市を
もっと知りたい方はこちら